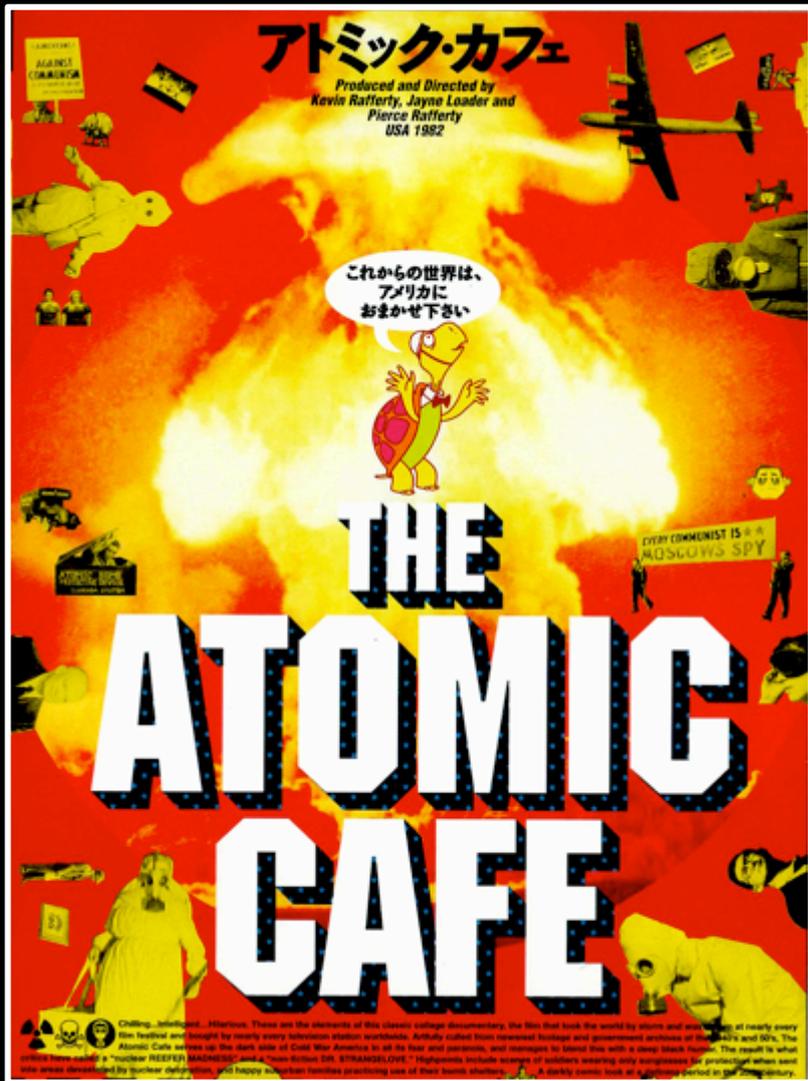


第76回 憲法を考える映画の会

THE ATOMIC CAFE

アトミック・カフェ



映画「アトミック・カフェ」

放射能バッチを付け、爆心地へ送り込まれるアメリカ兵たち。まるで実験動物のような彼らに対して上官は“爆風や熱に比べれば放射能に心配はない”と告げる。

かわいいカメのパート君が登場する教育アニメーションでは、原子爆弾が爆発したときの対処法を子どもたちに分かりやすく説明してくれる。パート君曰く“ピカッと光ったら、すぐに頭を隠すこと…”。

本作はこうした原爆に対する啓蒙を目的にしたフィルム素材だけを用い、ナレーションを排して巧みな編集でつないだ映像のみで、大衆プロパガンダの恐怖を浮かび上がらせていく。

米ソの原爆製造競争が激しかった当時、アメリカ政府は国民を安心させるために原爆PR用フィルムを製作した。原爆がいかに安全であるか、害のないものであるかをまじめに説いたこの映画は政府や軍部が国民に歴史に残る嘘をついたことを実証するものであった。

(1982年制作/89分/ドキュメンタリー/アメリカ映画
ケビン・ラファティ ジェーン・ローダー ピアース・ラファティ監督・製作作品)

2024年6月29日 (土)
13時30分～16時30分
文京区民センター 3A会議室
(地下鉄 春日駅 2分・後楽園駅 5分)

プログラム

13:30～13:40 この映画の背景について
13:45～15:15 映画『アトミック・カフェ』上映
15:25～16:30 トークシェア

参加費:一般 1000円 学生・若者 無料
(当日、会場でお支払いください。
予約不要でどなたでも参加できます)

今回の映画を見て考えたいこと

アメリカの原爆開発当時の、原爆への啓蒙を目的とした映画を材料に、アメリカ政府、軍のプロパガンダについて考えていこうとする映画です。そこには、政府や軍がどのように意図的に、原爆の被害を軽く印象づけようとするプロパガンダをまき散らしていたかが浮かび上がってきます。それは何を意図したものなのか？

その情報を見ていくと、軍や政治が都合よく、(都合の悪いものは隠して)科学的な根拠も何もなく、国民の安全や健康など二の次で、核開発を第一に動いていたかがよくわかります。国家や軍は国民の生命を守らない、政権を守るためには平気で国民の生命をも犠牲にすることがわかります。

しかし、この事実は70年前のアメリカの姿として、その愚かさ、いい加減さを笑う材料にしてばかりはいられません。まさに今、わが国でも、同じようなおかしい、愚かしい政策が大まじめに進められています。そのことを知ると、慄然とします。

北朝鮮の弾道ミサイルの飛来への「注意」を呼びかけるJアラート。ミサイル基地建設の理由付けのように沖縄で行われた避難訓練。東京、埼玉や全国の学校や街角でも繰り広げられました。今の日本ではマスメディアも、例えば「Jアラート」が発せられると、全局通常放送を止めて、その報道に従わなければならないと統制されています。いつの間にかそんな決まりができたのか。

まさに改憲の眼目である「緊急事態条項」を先取りです。そこには危険を煽り、有無を言わず従わせ、後はやりたい放題、自分たちに都合の良い意識の浸透、洗脳に努めているかのようです。

この映画を見て、政治が戦争への道を突き進もうとしている今、その戦争の危機を煽り、宣伝に利用しようとしている魂胆はどこにあるのか、ねらいは何なのかを考えて行きたいと思います。

憲法を考える映画の会

〒185-0024 東京都分府市泉町3-5-6-303
mail: hanasaki33@me.com
TEL:042-406-0502
<http://kenpou-eiga.com/?p=2994>

憲法を考える映画の会 (関連上映会) これまでの上映作品 (2013年4月~2024年6月)

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|--|---|
| | 第1回 2013年4月06日 戦争をしない国 日本 | | 第21回 2015年10月25日 首相官邸の前で | | 第45回 2018年9月23日 スペシャル 自覚なき戦後 | | 第61回 2021年8月08日 荒野に希望の灯をともし |
| | 第2回 2013年5月19日 八十七歳の青春 市川房枝生涯を語る | | 第22回 2015年11月28日 ハーツ・アンド・マインズ ベトナム戦争の真実 | | 第46回 2018年11月03日 OKINAWA1965 | | 第62回 2021年11月21日 子どもたちの昭和史 |
| | 第3回 2013年6月15日 映画 日本国憲法 | | 第23回 2016年1月31日 白バラの祈り ソフィー・ショル、最後の日々 | | 第47回 2018年12月08日 南京! 南京! | | 第63回 2022年2月06日 観劇 |
| | 第4回 2013年7月06日 日本国憲法誕生 | | 第24回 2016年3月26日 グラニート 独裁者を追い詰める | | 第48回 2019年1月27日 わたしの描きたいこと | | 第64回 憲法映画祭 2022年4月23日・24日 グレタのとりぼっちの挑戦/ちむくりさ/ 私たちの生まれた島/若きハルサーたちの唄/ ハーケレー市長がつくる町/日本女子/ 映画日本国憲法/コスタリカの奇跡 |
| | 第5回 2013年8月10日 日本の青空 | | 第25回 憲法映画祭 2016年5月01日 映画 日本国憲法/ありふれたファシズム/ ショック・ドクトリン | | 第49回 2019年3月02日 天から落ちてきた男 | | 第65回 2022年8月13日 TOMORROW 朝日 |
| | 第6回 2013年9月14日 ペアテの贈りもの | | 第26回 2016年6月26日 ザ・思いやり | | 第50回 憲法映画祭 2019年4月26日~28日 あの日の声を覚えて/天皇の名のもとに/ 証言 侵略戦争/陸軍前線飛行場/ 沖縄スライダ/ありふれたファシズム/ ショックドクトリン/ ベトナムから遠く離れて/共犯者たち | | 第66回 2022年10月23日 教育と愛国 |
| | 第7回 2013年11月02日 ショック・ドクトリン | | 第27回 2016年7月24日 ハトは泣いている 時代(とき)の肖像 | | 第51回 2019年6月30日 死んだらではない/私の描きたいこと ハトは泣いている/隠された爪跡/ OKINAWA1975/ 知事抹殺の真実/フクシマ2011 | | 第67回 2022年12月25日 日本原 牛と人の大地 |
| | 第8回 2013年11月30日 レーン・宮沢事件 | | 第28回 2016年9月17日 焼け跡から生まれた憲法草案 | | 第52回 2019年8月10日 宮古島からのSOS | | 第68回 2023年2月12日 テロリストは誰? |
| | 第9回 2014年1月18日 ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳 | | 第29回 2016年10月15日 NO (ノー) | | 第53回 2019年10月26日 憲法を考えるちいさな映画会 2019年7月14日 言わねばならないこと 遅すぎた聖断 | | 第69回 憲法映画祭 2023年4月29日・30日 はたしたのガン/射馬丸/ろしるの正面であれ/ 少女ファンシーと運命の旅/ ジョニー-陸軍前線飛行場/沖縄うりずんの雨/ 教育と愛国/ある戦争 |
| | 第10回 2014年2月08日・3月01日 "私"を生きる | | 第30回 2016年11月03日 わたしの自由について SEALDs 2015 | | 第54回 2019年8月10日 ピカドン ひろしま | | 第70回 2023年7月16日 ドキュメント石垣島/ 沖縄、再び戦場へ(仮) スピンオフ作品 |
| | 第11回 2014年4月12日 9条を抱きしめて | | 第6回 ちいさな映画会 2016年12月10日 抗い ARAGAI 横浜事件を生きて | | 第55回 2020年2月11日 特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断 | | 第71回 2023年8月6日 広島・長崎における原子爆弾の影響 |
| | 第12回 2014年5月24日 死んだらヒマはない 益永スミコ86歳 | | 第31回 2017年1月29日 横浜事件を生きて 横浜事件 半世紀の問い | | 第56回 2020年9月21日 特別上映会 2019年11月03日 靖国・地霊・天皇 遠近を抱えて PART 2 | | 第72回 2023年10月21日 鶴彬 こころの軌跡 |
| | 第1回 ちいさな映画会 2014年6月21日 ラブ沖縄 | | 第32回 2017年2月25日 小林多喜二 | | 第57回 2020年11月03日 特別上映会 2020年11月23日 人らしく生きよう 国鉄冬物語 | | 第73回 2023年12月23日 流血の記録 砂川 |
| | 第13回 2014年7月19日 ファルージャ イラク戦争 日本人入籍事件...そして | | 第33回 2017年3月26日 武器なき斗い | | 第58回 2021年3月27日 自主制作映画見本市 #5 2021年2月23日 天皇の名のもとに/グラニート ザ・思いやり/チェルノブイリハート | | 第74回 2024年2月3日 サイレント・フォールアウト |
| | 第2回 ちいさな映画会 2014年8月17日 僕たちは見た 沈黙を破る | | 第34回 憲法映画祭 2017 2017年4月29・30日 意志の勝利/白バラの祈り/夜と霧/ 顔のないヒトラーたち/戦争をしない国 日本/ 大東亜戦争/天皇と軍隊 | | 第59回 2021年4月17日 自主制作映画見本市 #3 2020年1月13日 陸軍前線飛行場/靖国・地霊・天皇 憲法を武器として/9条を抱きしめて 裁判所前の男/選挙が生まれる | | 第75回 憲法映画祭 2024 2024年4月29日 ヤジと民主主義/してはら/戦争のつくりかた/ 荒野に希望の灯をともし/ ミサイル基地がやってきた 島で生きる/ サイレント・フォールアウト |
| | 第14回 2014年9月21日 ありふれたファシズム 野獣たちのバラード | | 第35回 2017年5月27日 知事抹殺の真実 | | 第60回 2021年6月06日 自主制作映画見本市 #4 2020年9月26日 ヒロシマナガサキ最後の二重爆撃者 私たちは忘れない/二つの故郷を生きる 棘/人らしく生きよう/ 生きるのに理由はいらない | | 第76回 2024年6月29日 アトミック・カフェ |
| | 第3回 ちいさな映画会 2014年10月4日 遠報辺野古の闘い 2014年8月 アルマジロ | | 第36回 2017年7月01日 テロリストは誰? | | 第61回 2021年9月23日 自主制作映画見本市 #2 2019年9月23日 「在日」/証言 中国人強制連行/ レーン・宮沢事件/ファルージャ/ シロウオ/生きるのに理由はいらない | | |
| | 第15回 2014年11月22日 ANPO あの熱かった時代の「抵抗」のアート | | 第37回 2017年8月27日 戦ふ兵隊 日本の悲劇 | | 第62回 2021年11月21日 特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断 | | |
| | 第4回 ちいさな映画会 2015年2月1日 スペシャル わが青春に悔なし | | 第38回 2017年10月14日 隠された爪跡 払い下げられた朝鮮人 | | 第63回 2022年2月06日 特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断 | | |
| | 第16回 2015年3月14日 証言 侵略戦争 証言 中国人強制連行 | | 第39回 2017年12月10日 ジョン・ラーベ 南京のシンドラー | | 第64回 2022年4月23日・24日 特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断 | | |
| | 第17回 2015年4月25日 イラク 戦場からの告発 ジャーハダ イラク 異議の闘い シリア内戦 イスラム国の正体を暴く | | 第40回 2018年1月27日 憲法を武器として 憲法事件 50年目の真実 | | 第65回 2022年8月13日 特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断 | | |
| | 第18回 2015年6月13日 井上ひさし 九条を語る 加藤周一 九条を語る 女性達にとっての日本国憲法 | | 第41回 2018年2月25日 ザ・思いやりパート2 希望と行動 | | 第66回 2022年10月23日 特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断 | | |
| | 第19回 2015年7月18日 東京裁判 | | 第42回 憲法映画祭 2018年4月29・30日 すべての政府はウソをつく/ニッポンの嘘 東京裁判/NO/ハトは泣いている トランプのアメリカ | | 第67回 2022年12月25日 特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断 | | |
| | 第5回 ちいさな映画会 2015年8月23日 弁護士布施辰治 天皇の名のもとに | | 第43回 2018年6月3日・30日 500年 権力者を裁くのは誰か グラニート 独裁者を追い詰める | | 第68回 2023年2月12日 特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断 | | |
| | 第20回 2015年9月13日 誰も知らない基地のこと | | 第44回 2018年8月25日 「在日」 | | 第69回 2023年4月29日・30日 特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断 | | |

●毎回の映画の会の案内をご希望の方は、このチラシ表面のE-Mailアドレスまでその旨、お知らせください。